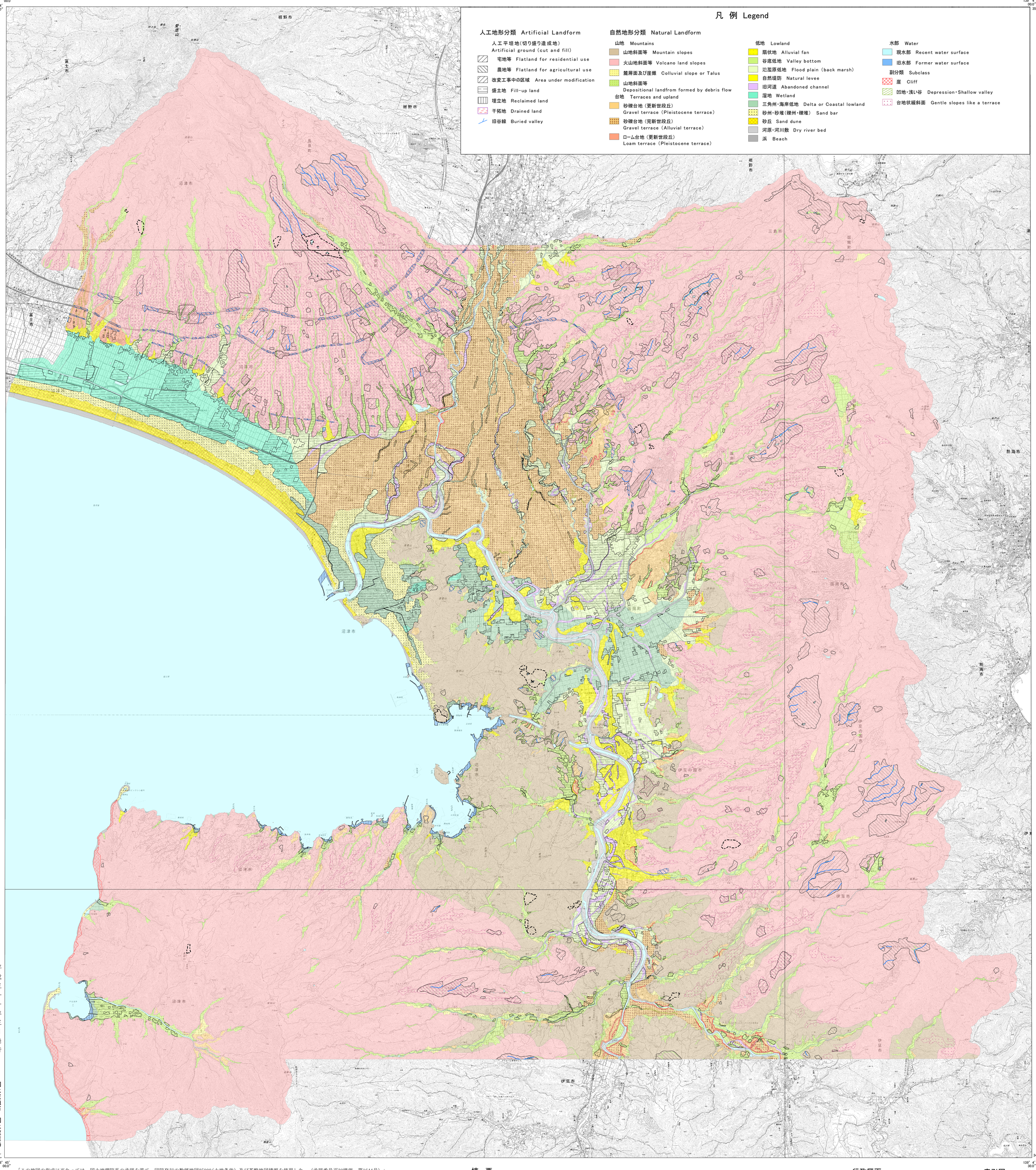
1：50,000
ぬまづ
土地分類基本調査図（土地履歴調査）

NUMAZU
沼　津

Classification Map of Artificial Landform and Natural Landform
人工地形及び自然地形分類図

平成三十年度調査



平成三十一年三月発行

国土交通省　国土政策局

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（土地条件）及び基盤地図情報を使用した。（承認番号平30情使、第1644号）」
「この地図は国土地理院長の承認を得て、電子地形図25000を複製したものである。（承認番号平30情複、第1634号）」

1．自然地形分類は1:25000土地条件図「沼津」（国土地理院,1981）、同「熱海」「伊東」（国土地理院,1982）、1:50000大山土地条件図「富士山」（国土地理院,2003）、1:25000白水地形分類図「三島・韮山・沼津・大瀬崎」「韮山・修善寺」（国土地理院,2017）を基礎資料として編集したものである。
編集にあたっては、以下の既存資料を参考に空中写真の補足判読により修正を行った。
5万分の1土地分類基本調査（地形分類図）「沼津」（静岡県,1977）、同「御殿場」（静岡県,1978）、同「修善寺」（静岡県,1980）、同「伊東・稲取」（静岡県,1984）、同「熱海・小田原」（静岡県,1985）
判読に使用した空中写真は終戦後米軍が撮影した空中写真（M450,M476等）や1960年代に国土地理院が撮影した空中写真（MU367-13X/X2～C13）。

2．人工地形分類図は調査時点の最新の電子地形図25000の読図及び基盤地図情報（数値標高モデル）、空中写真等の補足判読により作成した。基本的には電子地形図による地形の状況を反映しているが、最新の地形改変の状況が表現されていない場合がある。

3．背景地図　電子地形図25000

4．自然地形分類の現水部については、数値地図（基盤地図情報）の水涯線及び海岸線データを編集して作成した。

5．本図の作成にあたっては、早稲田大学の久保純子教授、沼津工業高等専門学校の佐藤崇徳教授のご指導を頂いた。

摘　要

1．経緯度の基準は世界測地系
2．投影はユニバーサル横メルカトル図法、
　座標帯は第54帯，中央子午線は東経141°
3．作業機関　株式会社パスコ
4．背景地図　電子地形図25000
　箱根　平成31年2月調製
　熱海　平成31年2月調製
　網代　平成31年2月調製
　伊東　平成29年9月調製
　裾野　平成30年11月調製
　三島　平成30年10月調製
　韮山　平成31年1月調製
　修善寺　平成31年2月調製
　愛鷹山　平成31年2月調製
　沼津　平成30年10月調製
　大瀬崎　平成30年10月調製
　達磨山　平成31年1月調製
5．対応する二次メッシュコード
　523836, 523837, 523846, 523847,
　523856, 523857, 523866, 523867,
　523930, 523940, 523950, 523960

行政区画

静岡県
1.沼津市
2.三島市
3.伊豆市
4.伊豆の国市
5.函南町
6.清水町
7.長泉町
8.裾野市
9.御殿場市
10.熱海市
11.伊東市
12.富士市
13.東伊豆町
14.河津町
15.西伊豆町

神奈川県
16.小田原市
17.箱根町
18.湯河原町

索引図

（　）内は所属20万分1地勢図名

1:50,000　沼　津

1000m　0　1000　2000　3000

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (C) 2019